

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 1月 7日

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                      |           |          |
|---------|----------------------|-----------|----------|
| 事業所番号   | 4270300462           |           |          |
| 法人名     | 株式会社 あおぞら福祉会         |           |          |
| 事業所名    | グループホームあおぞら          |           |          |
| 所在地     | 長崎県島原市下折橋町 3433 番地 1 |           |          |
| 自己評価作成日 | H23年12月25日           | 評価結果市町受理日 | H24年3月5日 |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|              |  |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL |  |
|--------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |  |
|-------|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人<br>ローカルネット日本福祉医療評価支援機構       |
| 所在地   | 〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217<br>島原商工会議所 1階 |
| 訪問調査日 | 平成 24年 1月 27日                          |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあおぞらでは、利用者のその日その時の気持ちをくみ取って安心して暮らせるように支援している。例えば、買い物に行きたい・お墓まいりに行きたい・趣味の裁縫をしたいなど状況や要望に応じた柔軟な支援を心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「あおぞらのようなさわやかな笑顔で」をモットーに、職員が自然な笑顔で利用者のケアにあたり、ここ数年は職員の質もさらに向上している。昨年秋には、利用者・家族の幅広く細かいニーズに答えていきたいとして、小規模多機能型事業所も開設された。また、職員一人ひとりの倫理観を深めたいとして、『倫理法人会』に加入され、毎週1回早朝より、市内のホテルにて学びの機会を設けた。ホーム内でも毎朝、朝礼リーダーを決め、利用者の気づきや意見を出し合ったり、支援の振り返りを行うことで、目指すべき理念の浸透や実践に繋がっている。今後も、利用者一人ひとりの思いを傾聴しながら、個別支援に力を入れていきたいとしている。

## 1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価     | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|----------|------|---|---|---|---|
|          |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 理念に基づく運営 |      |   |   |   |   |
| 1        | 1    | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>                    | <p>施設の玄関、廊下に掲示されスタッフ利用者の誰もが普段目にしており、朝礼にて唱和されている事で意識されている。</p>       | <p>今年度は、ホーム理念を改めて見直し、職員全員で話し合い「あおぞら介護理念」が作成された。毎日、朝礼時に振り返りを行うことで、理念に沿ったケアの実践に繋がっている。</p>  |   |
| 2        | 2    | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>                    | <p>地元中学生、高校生の職場体験の受け入れや、希望する方には選挙時の投票に付き添う。施設の行事等に参加して頂き交流を得ている</p> | <p>ホーム周辺は高校や小学校などの教育施設が多く、昨年は高校生の慰問があり、利用者にたいへん好評であった。また、小学生がホームに遊びに訪れるなど日常的な交流がある。</p>   |   |
| 3        |      | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>                  | <p>実習生の受け入れ、高校生の慰問、常時見学受け入れ、等を行っている<br/>また、公民館を借りて説明会等を実施している</p>   |   |   |
| 4        | 3    | <p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>職員のほか、利用者近、自治会長、消防団、行政職員も交えて、定期的に行われ、サービス向上に努めている。</p>           | <p>年に6回、地域包括支援センター職員、自治会長、消防団副団長、家族などの参加で定期的開催されている。また、参加者から地域の情報をいただくなど有意義な会議となっている。</p> | <p>参加者からの貴重な意見や質問があるため、質疑応答の流れを議事録に残すことで、今後の事業所活動に、より活かしやすくなると思われる。今後は、議事録の書式検討にも期待したい。</p> |
| 5        | 4    | <p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>             | <p>市町村担当者と運営推進会議で情報交換を行い取組みを積極的に伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>            | <p>ホーム代表者が、連絡協議会会長、介護福祉士会会長など多くの役員を担われ、日頃から行政との情報交換がある。今年度は特に小規模開設もあり、行き来機会が多かった。</p>     |   |

|    |   |   |   |  |  |
|----|---|---|---|--|--|
| 6  | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>研修会等で身体拘束について正しい知識を学び身体拘束しないケアを心がけている</p> <p>また玄関や窓はいつでも開放できるようにしている</p>               | <p>いかなる状況においてもホームでの身体拘束は必要ないとの考えであり、拘束は一切行っていない。対応の仕方を常に話し合い、言い方をかえるなどしてケアにあたっている。</p>                 |  |
| 7  |   | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>                                      | <p>研修での学び日々の関わりにて観察やコミュニケーション又、虐待が見過ごされる事が無い様に努めている</p>                                   |  |  |
| 8  |   | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>                                 | <p>研修会に参加し、権利擁護に関する制度についての理解を深めたり、職員会議を行いそれらの活用できるような取組みを話し合っている</p>                      |  |  |
| 9  |   | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>  | <p>希望者は常時施設見学ができスタッフも質問に答えることができる</p>   |  |  |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>   | <p>利用者に面会の方がこられたときはスタッフも談話に参加するなど、要望を伝えやすい環境を作っている</p> <p>又、玄関に意見箱を設置し要望を表せる機会を設けている。</p> | <p>3ヶ月に一度、発行される「あおぞら通信」では、利用者一人ひとりの様子を個人写真、コメントを掲載し、詳細に伝えている。また、担当職員が家族との対応も行うことでよい信頼関係が築かれている。</p>    |  |
| 11 | 7 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>   | <p>一職員の意見も吟味し反映される雰囲気作りを行っている</p> <p>毎朝の申し送り時に意見や提案を聞く機会を設け反映させている</p>                    | <p>全職員が日替わりで、朝礼リーダーを行い、気づいたことは毎日まとめて上司に報告されている。職員一人ひとりが意見を出すことを大事にしている。また、連絡ノートにて日々、密な情報交換が行われている。</p> |  |

|                          |   |   |  |  |
|--------------------------|---|---|--|--|
| 12                       | <p><b>就業環境の整備</b><br/>         代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>      | <p>タイムカードの実施残業無く提示で終了することができる</p>                                 |  |  |
| 13                       | <p><b>職員を育てる取組み</b><br/>         代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | <p>積極的に研修に申し込んで頂き初任者、実習指導者等の研修を受けている</p>                          |  |  |
| 14                       | <p><b>同業者との交流を通じた向上</b><br/>         代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>研修会等で交流する機会も多くネットワークの形成とサービスの質の向上させていく取り組みを行なっている</p>          |  |  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |   |   |  |  |
| 15                       | <p><b>初期に築く本人との信頼関係</b><br/>         サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>        | <p>職員それぞれがアセスメントを行い、得た情報を記録にて共有している</p>                           |  |  |
| 16                       | <p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b><br/>         サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>                   | <p>面会等で家族の困っていること、要望などをスタッフも傾聴しどのような対応ができるか話し合いながら関係づくりに努めている</p> |  |  |
| 17                       | <p><b>初期対応の見極めと支援</b><br/>         サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>               | <p>受理面接などで必要としている支援をさまざまな視点から見極め対応できるように努めている</p>                 |  |  |

|                          |   |   |   |  |  |
|--------------------------|---|---|---|--|--|
| 18                       |   | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                       | <p>洗濯物たたみ、食器拭き、縫い物調理手伝い等利用者にも役割を持っていただいている</p>                  |  |  |
| 19                       |   | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>        | <p>常時面会の受け入れ、電話も希望があればかける 又、外出される方にも身だしなみ等の準備を行う</p>            |  |  |
| 20                       | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>                     | <p>かかりつけ医や美容院、友人の面会等、利用者のこれまでの生活の継続性を考慮し対応を行っている</p>            | <p>入居前の生活の継続を大事にしており、地域の行事は体調等も考慮しながら、なるべく参加するようにしている。近所の方達と交流することで明るい表情になられる。</p> |  |
| 21                       |   | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>                | <p>共通の話題や、共に行える作業を支援する事でコミュニケーションがとれている</p>                     |  |  |
| 22                       |   | <p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>入院された方への見舞いや祭事等への出席家族の相談にも応じている</p>                          |  |  |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |   |   |   |  |  |
| 23                       | 9 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>                       | <p>一人で過ごす事を好まれる利用者には集団で過ごす事を強制せず、スタッフも心がけながら心地よい環境作りを目指している</p> | <p>利用者一人ひとりのニーズに合わせた個別支援に力を入れている。普段の会話の中から思いを傾聴し、現在まで、可能な限り様々な要望にも取り組まれた。</p>      |  |

|    |   |   |  |  |
|----|---|---|--|--|
| 24 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>  | <p>記録、情報の共有を行っている</p> <p>利用者との会話により生活歴等を聞き他スタッフとの情報の共有を行っている。</p> |  |  |
| 25 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>  | <p>スタッフが日々の様子を観察し利用者の状態把握に努めている</p>                               |  |  |
| 26 | 10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>多面的な視点から利用者やスタッフの意見を取り入れ現状に即した介護計画の作成を行っている</p>                | <p>詳細にアセスメントを行い、その中から、さらに問題点等をまとめてプランに掲げている。内容は利用者・家族にもわかりやすいものとし、定期的に見直し・評価が行われている。</p> |  |
| 27 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>                           | <p>日誌の他、個人記録があり、一日の様子が詳細に書かれている</p>                               |  |  |
| 28 | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>                  | <p>受診の際の順番取りや付き添いも行っている</p> <p>また、利用者の状態に応じて柔軟な支援を行っている。</p>      |  |  |
| 29 | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>                            | <p>ボランティア、消防の方などの協力しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援を行っている</p>          |  |  |

|    |    |  |   |   |  |
|----|----|--|---|---|--|
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                                | <p>利用者それぞれのかかりつけ医への定期受診や連絡相談等、連携を深めつつ適切な医療を受けられるように援助を行っている</p>         | <p>利用者・家族の希望に応じて入居前のかかりつけ医の継続を大事にしている。受診した際は、「受診記録」に主治医からの説明や検査結果等を細かく記載し、職員間の共有も行われている。</p>  |  |
| 31 |    | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>                      | <p>看護職員が常駐し介護職員との連携も行いやすい環境である</p>                                      |   |  |
| 32 |    | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>利用者が入院した際は毎日お見舞いを行う様にしている。また、病院関係者との情報交換や相談に努めている</p>                |   |  |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>家族・本人の意向を十分に尊重し事業所でできることを説明しながら方針を共有し、施設支援をできるかぎり提供できるように取り組んでいる</p> | <p>ニーズがあれば、ホームでの看取りを行う方針であり、時期を考慮して医師、家族を含めて話し合いを行い、意向の確認をしている。職員は、ターミナルの研修を受講し、学びの機会もある。</p> |  |
| 34 |    | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>   | <p>研修などで応急処置を学んで夜間は宿直が対応できるようになっている</p>                                 |   |  |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>   | <p>年二回の消防訓練があり、警備会社とも契約し連携をとっている。スタッフも緊急時の対応を定期的に確認している。</p>            | <p>定期的に避難訓練が行われ、新人職員の研修でも消火器の配置など再確認を必要時行っている。また、訓練の際には地域の方に声かけし、できるだけ参加を呼びかけている。</p>         | <p>次のステップとして、備蓄の充実（すぐに口に入れるもの等）と非常時持ち出し品（個人情報、全身写真等）の準備の検討にも期待したい。</p> |

| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |    |   |   |   |  |
|-----------------------|----|---|---|---|--|
| 36                    | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 赤ちゃん言葉は厳禁。必ず敬語を用いて話している。<br>プライバシー保護の為、排泄時も可能であればドアの外で待機する        | 利用者は、職員の声かけに敏感に反応されることを認識し、その場に応じて配慮のある対応・言葉かけを行っている。職員の気になる対応はその都度注意し、改めている。           |  |
| 37                    |    | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日常生活の中でコミュニケーションをとりながら思いや希望、自己決定ができるように働きかけている                    |   |  |
| 38                    |    | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペースを尊重しながらも日常生活から大きく外れることの無い様、声かけ援助している                      |   |  |
| 39                    |    | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | かかりつけの美容院、床屋へ送迎するほか施設にも定期的に床屋がこられて散髪をおこなっている<br>服の買い物も支援している      |   |  |
| 40                    | 15 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 一人一人の好みをきいたり、可能な方には調理を手伝っていただき、食器拭きを行っていただき食事を楽しむことのできる支援をおこなっている | 嗜好調査を行い、定期的に好みを確認するほか、チラシを見て、利用者と献立を決めたり、食べたいものを尋ねている。また、可能な限り、野菜の皮むきや食器拭きなど参加してもらっている。 |  |
| 41                    |    | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 利用者の水分補給に心がけお茶の他にコーヒー、紅茶、ショウガ湯等も提供している                            |   |  |



|    |    |  |   |   |  |
|----|----|--|---|---|--|
| 42 |    | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>                    | <p>食後は声かけ誘導を行い、口腔ケアの実施、確認を行っている</p>   |   |  |
| 43 | 16 | <p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>     | <p>排泄記録により、排泄周期の把握を行い、排泄の失敗やおむつの使用を減らしている</p> <p>また、自尊心を傷つけないような声掛けに努めている</p> | <p>利用者の身体能力や希望を考慮して、なるべくオムツの使用はしていない。トイレ誘導は、安全面を考え、職員2人介助で行うこともある。</p>                |  |
| 44 |    | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>                     | <p>水分補給や、食材の工夫、体操等を行い便秘予防に取り組んでいる</p>   |   |  |
| 45 | 17 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>湯冷めしない様温度管理に心がけ、入浴中も会話を絶やさず、入浴を楽しんでいただけるようにしている</p>                        | <p>1年を通して、週に3回程度の入浴を行っているが、毎日でも可能である。季節に応じたゆず湯・菖蒲湯を取り入れ、適宜入浴剤を使用したり、足湯に出かけることもある。</p> |  |
| 46 |    | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>                      | <p>昼食後、夕食後は利用者の希望に沿って、臥床や入眠の介助を行っている</p>                                      |   |  |
| 47 |    | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>                 | <p>看護職員より薬の説明を受け、必ず確認を行っている</p>   |   |  |

|    |    |  |  |  |  |
|----|----|--|--|--|--|
| 48 |    | <p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>  | <p>レクリエーションが個人の趣味の実践を行っている、又、ドライブや年間行事も多い</p>                            |  |  |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>                     | <p>日常的にドライブ、散歩など外出支援し普段は行かないような遠方外出の機会を設け、お寺参りや家族との外出等の支援も行っている</p>      | <p>週に1~2回は市内のあちこちにドライブに出かけている。外出できない場合でもホーム周辺を散歩することで、季節を感じてもらっている。家族対応の外出・外泊はいつでも可能である。</p> |  |
| 50 |    | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <p>高額でなければ個人の金銭には介入していない又、希望の品等があれば代理で購入もしている</p>                        |  |  |
| 51 |    | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>   | <p>利用者代理で郵便を受け付けたり電話を変わりにかけたり取り次ぎも行っている</p>                              |  |  |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>生活活動範囲に季節にあった飾り付けや写真の展示、生け花等を行い、気分よく過ごせるよう、光、温度を調節し、変化のある工夫を行っている</p> | <p>玄関を入ると爽やかな青空の壁紙が訪問者を迎える。リビングは自然な採光が射し込み、暖かい。テーブルには、季節の花が飾られ、ゆったりとくつろげる音楽が流れている。</p>       |  |
| 53 |    | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>  | <p>スタッフも談話に加わったり一人で過ごす時間も尊重している</p>                                      |  |  |

|    |    |   |   |   |  |
|----|----|---|---|---|--|
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 以前使っていた家具や、家族から贈られたものを配置している<br>気の合った利用者同士で座席を近くにしているなど行っている。 | より快適に過ごせるように、全居室の窓を2重窓に改修し、結露防止の効果にもなっている。居室は、家族と相談し、本人が使い慣れた家具などが持ち込まれている。 |  |
| 55 |    | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 施設内は全面バリアフリーであり、安全に配慮した構造になっている                               |   |  |

アウトカム項目

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23,24,25)                     |  | 1, ほぼ全ての利用者の<br>2, 利用者の2/3くらいの<br>3, 利用者の1/3くらいの<br>4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18,38)                            |  | 1, 毎日ある<br>2, 数日に1回程度ある<br>3, たまにある<br>4, ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)                                 |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)                   |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                                 |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30,31)                       |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>(参考項目：28)               |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。<br>(参考項目：9,10,19) |  | 1, ほぼ全ての家族と<br>2, 家族の2/3くらいと<br>3, 家族の1/3くらいと<br>4, ほとんどできていない    |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9,10,19)                    |  | 1, ほぼ毎日のように<br>2, 数日に1回程度ある<br>3, たまに<br>4, ほとんどない             |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) |  | 1, 大いに増えている<br>2, 少しずつ増えている<br>3, あまり増えていない<br>4, 全くいない        |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている。<br>(参考項目：11,12)  |  | 1, ほぼ全ての職員が<br>2, 職員の2/3くらいが<br>3, 職員の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。   |  | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                                     |  | 1, ほぼ全ての家族等が<br>2, 家族等の2/3くらいが<br>3, 家族等の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない |